



ゆうすい

嘉島西小学校 学校便り

令和5年3月22日
文責：校長 江上 知男



いよいよ「最後の授業」卒業式



練習の一コマ



1年生からの感謝！

3月23日(木)に、本校卒業式を挙行政します。81人の子どもたちが嘉島西小学校を巣立ちます。今年度もまた、コロナ禍により子どもたちを見守っていただいた地域の方々をお招きすることはできませんでしたが、「子どもたちの『心が見える』ような卒業式」にしたいと考え、学校として出来る限りの準備をして当日を迎えます。

私たち教職員は、卒業式を「最後の授業」と考えています。卒業式の全ての瞬間が、卒業生の「学びと感謝の場」になれば嬉しいです。今年、在校生代表として5年生が出席し、「お祝いの気持ち」を伝えてくれます。5年生とともに、卒業生の「巣立ち」を見届けたいと思います。私も、大好きな6年生に向けて、心を込めて「式辞」を述べさせていただきます。

さて、6年生の通知表をすべて読ませていただきましたが、まさに「担任から一人ひとりの子どもたちに向けた『ラブレター』」だと感じました。心が温かくなりました。一部抜粋です。

- 学級や友達のことを考え、自分の意見だけでなく友だちの意見を聞き、調整役やまとめ役を担いました。
- 学級の色んな事に気付いて、友だちに声をかけたり、進んで行動する力が高まりました。
- 友だち思いで、口には出さずそっと係を手伝ったり、必要なことを教えたりしていました。
- 友達から何か頼まれたとき、二つ返事で手助けができる優しさが随所で見られました。
- あなたのことを思ってくれるたくさんの友達がいます。嘉島西小でのつながりを大切にしてください。
- これから先、深く悩んだり壁にぶつかったりしても大丈夫。どんな人に対しても優しく寄り添ってきたあなただから、周りには支えてくれる人たちがたくさんいるはずですよ。
- あなたは、周りの人のアドバイスを素直に受け入れる力を持っています。そのことを大切に、支えてくれる人への感謝を忘れず、自分に自信を持って一歩ずつ進んでください。

本当に月日の流れは早いもので、今年度も残り1週間となりました。この1年、自分なりに学校運営に懸命に取り組んできたつもりではありますが、コロナ禍あり、力不足ありで、保護者や地域の皆さまの期待に十分応えることができなかったのではないかと、大変申し訳なく思っております。

私は、この学校に赴任して強く感じていることがあります。それは、家庭や地域が「学校と一緒に課題を解決しようとする雰囲気」です。この1年、先生たちに対する「感謝の言葉」「励ましの言葉」をたくさんいただきました。学校として本当に心強い限りですし、全ての先生たちが「この学校でもっと力を発揮したい」と思っています。

学校の仕事は、「子どもを卒業させて終わりではなく、関わった人の人生に深く関わり続けていくものだ」ということを自覚しています。卒業した方々が、「嘉島西小学校を心のよりどころ」としていただけるよう、これからも「地域とともにある学校」を目指して職員一同頑張ります。

1年間、学校便りをとおして、稚拙な文章にお付き合いいただき、ありがとうございました。